増 山 幹 高 教授

役 職:副学長、研究科長、修士課程委員会委員長、公共政策プログラムディレクター、Young Leaders Program ディレクター代理(政治・行政担当)

専門分野:日本政治、議会制度、計量分析

学 位: Ph.D.(政治学) ミシガン大学(2001年)

略 歴:1999年成蹊大学法学部専任講師

2000年 成蹊大学法学部助教授

2004年 成蹊大学法学部教授

2005年 慶應義塾大学法学部教授

2009 年 政策研究大学院大学教授

2011年 政策研究大学院大学学長補佐

2013 年 政策研究大学院大学学長特別補佐

2014年 政策研究大学院大学副学長、研究科長

1. 業 績(A)

(1) 雑誌論文(共 著)

- * (査読付き) Kentaro Fukumoto and <u>Mikitaka Masuyama</u>, "Measuring Judicial Independence Reconsidered: Survival Analysis, Matching, and Average Treatment Effects." *Japanese Journal of Political Science*. Vol. 16, No. 1, March 2015, pp. 33-51, Cambridge University Press.
- * Mikitaka Masuyama and Benjamin Nyblade, "Japan." *European Journal of Political Research*. Vol. 53, December 2014, pp.189-197, Wiley.
- * Mikitaka Masuyama and Benjamin Nyblade, "Japan: ministerial selection and de-selection." in *The Selection of Ministers around the World*. eds. K. Dowding and P. Dumont. Routledge: New York, 2015. pp. 61-83.

(2) 学会発表

- * 鈴木泰山,内山雄司,青木保一,相良毅,秋田祐哉,河原達也,<u>増山幹高</u>,竹田香織「音声認識技術の活用による国会審議映像検索システムの実現」情報処理学会研究報告, 2014年10月24日.
- * Mikitaka Masuyama and Kaori Takeda, "Instant Parliamentary Deliberations Are in Our Reach," Prepared for delivery at the 2014 Annual Meeting of the American Political Science Association, August 28-31, 2014.
- * Sadafumi Kawato and Mikitaka Masuyama, "Does the Divided Diet make a difference?" Presented at the Workshop on "Heterotemporal Parliamentarism," Ludwig Maximilians University, Munich, Germany, May 8-9, 2014.

2. 業績(B)

(1) その他

- * 科学研究費補助金(基盤研究S)によって開発・運用・公開しているサイト:
 - http://www3.grips.ac.jp/~clip/
 - http://gclip1.grips.ac.jp/video/
 - http://gclip1.grips.ac.jp/disclosure/

3. 助成金等による研究

- * 平成 26 年度科学研究費補助金(基盤研究 S)「政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化」研究代表者
- * 平成 26 年度情報通信利用促進支援事業費補助金(総務省)「音声指示による web 動画 コンテンツの検索と再生操作の研究開発」(株式会社ピコラボ委託)研究代表者

4. 教育

(1) 講義

- * Government and Politics in Japan (秋学期)
- * 比較議会制度論(秋学期)
- * 社会科学方法論=量的分析(秋学期)

(2) 論文指導

- * Young Leaders Program (School of Government):修士課程 3 名(主指導 3 名、3 名学位取得)
- * 公共政策プログラム:修士課程3名(主指導2名・副指導1名、3名学位取得)
- * 公共政策プログラム:博士課程1名(主指導1名)
- * 政策プロフェッショナルプログラム:博士課程2名(副指導2名、うち1名学位取得)

(3) 研修事業

- * タイ PMLTP 研修
- * ベトナム共産党幹部職員研修

5. 管理・運営への関与

- (1) 委員会
 - * 研究教育評議会
 - * 役員会
 - * 経営協議会
 - * 学長選考委員会
 - * 企画懇談会
 - * 修士課程委員会
 - * 博士課程委員会
 - * 奨学金等委員会
 - * 教員人事委員会
 - * 教員業績評価委員会
 - * プログラム改革推進本部
 - * 政策研究センター運営調査会
 - * グローバルリーダー育成センター運営委員会
 - * 学術機関リポジトリ委員会
 - * リーディング大学院運営委員会
 - * 国際交流会館等運営委員会
 - * プログラム推進費予算検討委員会
 - * 仕樣策定委員会
 - * Young Leaders Program Committee
 - * 公共政策プログラム・コミティー

- * 政策プロフェッショナルプログラム・コミティー
- (2) タスクフォース
 - * IAC タスクフォース
 - 国内プログラム改革関係
 - コンソーシアム発展関係
 - ランゲージセンター関係(プロフェッショナル・コミュニケーションセンター)
 - * 評価タスクフォース
 - * 機能強化タスクフォース
 - * 第3期中期目標・計画検討ワーキンググループ
- (3) その他
 - * 副学長
 - * 研究科長
 - * 修士課程委員会委員長
 - * 奨学金等委員会委員長
 - * 公共政策プログラムディレクター
 - * Young Leaders Program ディレクター代理(政治・行政担当)
 - * 教員業績評価委員会委員長
 - * 国際交流会館等運営委員会委員長
 - * 仕樣策定委員会委員長

6. 社会的貢献(A)

(1) 他大学・研究所等における活動

非常勤講師

- * 慶應義塾大学法学部客員教授
 - 法学部:立法過程論 (春学期 15 回),現代日本政治論 (秋学期 15 回),日本政治論特殊研究 (秋学期 15 回)
 - 法学研究科:日本政治論特殊研究(春学期 15 回),日本政治論特殊演習(秋学期 15 回)
 - 健康マネジメント研究科:医療政治学(秋学期2回)

委員会等

- * 京都大学公共政策大学院外部評価委員会委員
- (2) 学会等における活動
 - * 日本公共政策学会理事
- (3) その他
 - * 「レヴァイアサン」編集委員
 - * 新しい日本をつくる国民会議 (21 世紀臨調) 運営委員

7. 社会的貢献(B)

(1) ジャーナリズムでの発言

活字メディア

- * 「国会改革、首相の出席負担を軽減 4 党正式合意」日本経済新聞(2014年5月24日)
- * 「野党の論戦のあり方」北海道新聞(2014年7月15日)
- * "Japan PM names five women to new cabinet" Channel News Asia (2014年9月3日)

- * "Japan mulls snap election next month: reports" AFP (2014年11月13日)
- * "Японский взгляд на Россию: озабоченность и заинтересованность" ロシア独立 新聞 (2014 年 12 月 5 日)
- * "Japan voters ready unenthusiastic yes to PM Abe" AFP (2014年12月13日)
- * "Leading candidates for DPJ presidency make final push" Channel News Asia (2015年1月16日)
- * "Two Japan ministers latest to deny illegal funding" Reuters (2015年2月27日) 電波メディア
- * 「特集首都圏" やじ " に揺れる議会 ~ 緊急報告・議場でなにが~ 」NHK (2014 年 6 月 27 日)